


この度は、「薬剤師国家試験対策参考書[改訂第10版]⑤薬理」をご購入いただき、誠に有難うございます。
 本書について、以下のとおり補足及び訂正させていただきます。
 ご迷惑をお掛け致しまして申し訳ございませんが、何卒宜しくお願い申し上げます。

薬学ゼミナール編集 青本[改訂第10版]⑤薬理 補足及び訂正一覧表

	訂正前	訂正後
目次(Pxiv～xvii)		以下のページ数の前に web link マーク  を入れる。 101、126、131、160、188、295、303、328、354、412、426、463、500
P6 MEMO *3 17行目	……作動薬が受容体への結合を……	……作動薬の受容体への結合を……
P7 MEMO ▷ K^D (平衡解離定数) 8行目	……[R] = [L]……	……[R] = [LR]……
P7 MEMO ▷ K^D (平衡解離定数) 9行目	……[D]となる。……	……[L]となる。……
P146 プロポフォール	プロポフォール	プロポフォール* MEMO 欄に、次の文を追加 <u>□*GABA_A受容体の GABA 結合部位に作用すると考えられている。</u>
P146 表●静脈麻酔薬の特徴 プロポフォールの特徴 1行目	・非ベンゾジアゼピン系薬である	削除
P146 表●静脈麻酔薬の特徴 プロポフォールの特徴 2行目	脳内 GABA _A 受容体機能を亢進して、抑制性伝達物質である GABA の作用を増強する	脳内の GABA _A 受容体を活性化し、 <u>中枢神経機能を抑制する</u>
P172 表●統合失調症治療薬の特徴 スルピリド 7行目	・末梢の D ₂ 受容体遮断による消化管運動促進作用や視床下部に作用して胃血流を改善するので、胃・十二指腸潰瘍にも用いられる(低用量:150 mg/日)	・末梢の D ₂ 受容体遮断による消化管運動促進作用を示すとともに、 <u>視床下部に作用して胃粘膜血流の停滞を改善するため</u> 、胃・十二指腸潰瘍にも用いられる(低用量:150 mg/日)
P198 表●ドパミン作用増強薬の特徴 タリペキソール 5行目	〈警告〉 前兆のない突発的睡眠及び傾眠などが見られることがある(プラミペキソール、ロピニロール)	〈警告〉 前兆のない突発的睡眠及び傾眠などが見られることがある(プラミペキソール、ロピニロール、 <u>ロチゴチン</u>)
P208 表●アテローム血栓性脳梗塞治療薬(急性期治療)の特徴 下から1行目	(発症後 4、5 時間以内)(アルテプラゼ)	(発症後 <u>4.5</u> 時間以内)(アルテプラゼ)
P275 表●骨粗しょう症治療薬の特徴 <ビスホスホネート製剤>特徴 6行目	(GGP)の生合成を阻害するために……	(GGPP)の生合成を阻害するために……
P290 MEMO ▶*1 3行目	頻拍はトルタード・ド・ポアンツ……	頻拍はトル <u>サ</u> ード・ド・ポアンツ……
P291 表●I群(Na ⁺ チャネル遮断薬)の特	フレカイニド*2	フレカイニド*3

徴) 〈Ic群〉フレカイニド		
P291 表●I群(Na ⁺ チャネル遮断薬の特徴) 〈Ic群〉4~5行目	②活動電位持続時間と不応期には影響を与えない	②活動電位持続時間には影響を与えない
P307 表●Ca ²⁺ チャネル遮断薬の特徴 6行目	・末梢動脈拡張→末梢血管低抗現象→	・末梢動脈拡張→末梢血管抵抗現象→
P339 表●その他の抗血栓薬の特徴 下から4行目	パージャージャー病	パージャージャー病
P341 表●血小板凝集抑制薬(抗血小板薬)の特徴 アスピリン 特徴 1行目、5行目	・血小板 ^{*1} のCOX…… ・用量を多く用いると血管内皮細胞 ^{*2} で… … *1と*2の説明をMEMOに追加	*1 血小板ではCOX-1のみが発現しており、これによりTXA ₂ が産生される。アスピリンは主にCOX-1を阻害する。 *2 血管内皮細胞ではCOX-1に加えて、炎症などの刺激によりCOX-2が発現しており、PGI ₂ が産生される。
P375 ●気管支ぜん息治療薬の特徴 〈副腎皮質ステロイド性薬 ^{*1} 〉下から2行目	…発生しやすいため、吸入補助具であるスパーサーの使用や使用後のうがい ^{など} で防止する	…発生しやすいため、使用後のうがい ^{など} で防止する
P389 ●防御因子増強薬の特徴 〈D ₂ 受容体遮断薬〉スルピリド		削除
P416 ●インスリン製剤の特徴 3段目	中間型インスリンリスプロ*	削除
P416 ●インスリン製剤の特徴 脚注	* 超速効型インスリンリスプロに持続化剤のプロタミンが添加されている。	削除
P425 1行目	(6) 糖尿病性腎症治療薬	(5) 糖尿病性腎症治療薬
P458 ●糖質コルチコイドの特徴 〈作用〉1行目	……核内へ移行し、mRNAの転写を促進する。	……核内へ移行し、遺伝子の転写を調節する。
P495 問9 解答		誤
P515 表 ●ホスホマイシン系抗菌薬の特徴 特徴 2行目	UDP-GluNAc-エノールピルビン酸転移酵素	UDP-GlcNAc-エノールピルビン酸転移酵素
P527 MEMO	▶ベタキリン	▶ベダキリン
P559 表 ●プリン類及びピリミジン類似薬の特徴 7行目	<p>5-FU 体内、5-フルオロデオキシウリジル酸 ↓ デオキシウリジル酸 → チミジル酸 → DNA合成 ↓ (チミジル酸合成酵素) チミジル酸合成酵素</p>	DNA合成

※本書記載の参照頁“→「第〇章 〇.〇.〇 ……」p.〇参照”は、該当の内容が記載されている〇.〇.〇が始まる頁を示しております。

薬学ゼミナル編集 青問[改訂第10版]⑤薬理 補足及び訂正一覧表

	訂正前	訂正後
P106 問題 2 1	……セロトニン 5-HT ₁ 受容体刺激作用を	……セロトニン 5-HT ₂ 受容体遮断作用を

	もつ。	もつ。
P107 問題 2 解説 1	……セロトニン再取り込み阻害により抗うつ作用を示す。また、本剤は、5-HT ₁ 受容体に対するアゴニスト活性を示す。	……セロトニン再取り込み阻害作用を示すとともに、5-HT ₂ 受容体遮断作用も有し、抗うつ作用を示す。
P205 問題 6 解説 4 2 行目	……AT ₁ 受容体遮断作用により、 <u>アンギオテンシンⅡによる血管収縮や副腎髄質からのアドレナリン分泌を抑制するため、</u> 血圧を低下させる。	……AT ₁ 受容体遮断作用によりアンギオテンシンⅡによる血管収縮を抑制するため、血圧を低下させる。
P259 問題 7 解説 5 1 行目	ダルベポエチンアルファ注射液は、毎日注射する必要はなく、週 1 回の静脈内投与で効果が得られる。	ダルベポエチンアルファ注射液は、毎日注射する必要はなく、 <u>血液透析患者では 1～2 週に 1 回の静脈内投与、腹膜透析患者及び保存期慢性腎臓病患者では 2～4 週に 1 回の皮下又は静脈内投与で効果が</u> 得られる。
P299 問題 5 解説 3 2 行目	……する薬物として <u>ペントキシバリン</u> がある。	……する薬物として <u>ベンゾナテート(現在適応なし)</u> がある。
P455 問題 3 解説 5 1 行目	…… <u>フェニレフリンやエチレフリン</u> は選択的に……	……フェニレフリンは、選択的に……

※本書記載の参照頁“→第○章 ○.○.○ ……”p.○参照”は、該当の内容が記載されている○.○.○が始まる頁を示しております。